

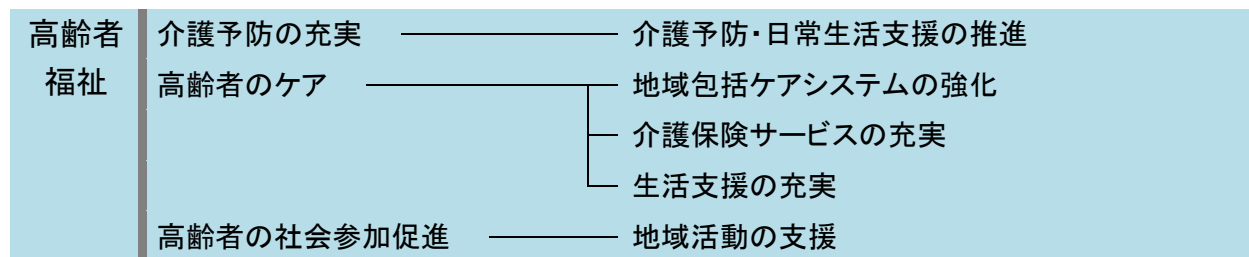


現況と課題

- ◆ 「富士吉田市介護保険事業計画」を3年ごとに見直しつつ介護サービスを展開していますが、高齢者、特に単身高齢者の増加に伴い今後も保険給付の増加が見込まれ、地域による高齢者支援の体制づくりや、制度のあり方も含めた幅広い検討が必要となります。
- ◆ 介護給付費抑制のためにも介護予防の重要性はますます高まります。デイサービス（通所サービス）及び日常生活支援事業（訪問サービス）の需要の大幅な増加に対し、地域住民の協力を得たサービス提供体制づくりを精力的に進める必要があります。
- ◆ 2011（平成23）年度に地域包括支援センター・ランチ体制^{*1}を整備し、介護保険法に基づく高齢者の生活実態把握調査、相談業務、ケア会議、ケアマネジメント業務等を実施し、高齢者が必要な介護サービス及び生活支援サービスを受けられるように努めています。また、本人及び家族支援のため、配食サービスをはじめとした各種の任意事業も実施しています。
- ◆ 単身高齢者世帯、高齢者夫婦世帯及び認知症高齢者の増加が予想される中、高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らし続ける体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指す必要があります。市指定の地域密着型施設の充実も図られていますが、さらに、在宅医療・介護の連携や地域全体で高齢者を支援する体制づくりが不可欠となります。介護離職ゼロを目指した人材の確保も急務です。
- ◆ 特別養護老人ホームやグループホームの整備を進めてきましたが、特別養護老人ホーム入所待機者が多く発生しており、その増加抑制と在宅での福祉サービスの充実が課題です。
- ◆ 福祉事業者等と協定を締結し、災害時における福祉避難所を確保しています。今後も避難行動要支援者の安全・安心を確保するため、各施設との連携・強化が必要です。
- ◆ 2015（平成27）年度に、コミュニティセンター機能と老人福祉センター機能、福祉避難所を併せ持った多世代交流施設「富楽時（ふらっと）」がオープンし、高齢者や各種団体を中心に利用が定着しています。老人福祉センター付設作業所なども含め、これらの場の利用により、社会参加、就労、趣味、社会貢献など高齢者が生きがいをもって取り組む機会や仕組みづくりが必要であり、魅力あるソフト事業の検討なども求められます。健康づくり事業など高齢者社会活動推進事業を実施していますが、その参加者の拡大、シニアクラブの会員の募集も課題です。

*1)ランチ体制:地域包括支援センターの運営体制としては、住民の利便性を考慮し、地域包括支援センターにつながるための窓口として包括センターの他にランチ(総合相談窓口)を設置することができる。

施策の体系



施策

(1) 介護予防の充実

①介護予防・日常生活支援の推進

介護予防事業については、従前の身体機能の維持・向上が中心の介護事業者等によるデイサービスに加え、健康寿命の延伸に効果的な「高齢者の社会参加」や「生きがいづくり」の場の提供も合わせて、地域ぐるみでの取組を推進します。また、介護予防・日常生活支援総合事業の開始により、要支援高齢者等に対する日常生活支援を介護予防事業と共に実施し、総合的に支援します。

(2) 高齢者のケア

①地域包括ケアシステムの強化

地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の実情に沿った在宅医療・介護連携の強化を図るとともに、地域ケア会議の推進、総合的な認知症施策、生活支援・介護予防の基盤整備等への取組を強めていきます。また、在宅介護者及び高齢者本人の自宅での生活支援サービスの充実に努めます。

②介護保険サービスの充実

国や県の施策の方向性を踏まえながら、要支援・要介護者や介護者の意向に沿った介護・支援のニーズを的確に把握し、必要な各種サービスを計画、実施していきます。今後、更に介護需要の増加が見込まれ、介護人材の確保が必要となることから、処遇改善をはじめ、働き方の改善について検討していきます。

③生活支援の充実

介護状態になっても、要支援・要介護者が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるよう、医療機関と介護事業所等の連携を推進し、安心した在宅生活が送れるよう支援していきます。また災害時や感染症の拡大時においても、介護事業所等と連携するとともに、必要な物資の支援・応援体制の構築を推進していきます。

(3) 高齢者の社会参加促進

①地域活動の支援

健康寿命の延伸、介護予防に非常に有効とされる「社会参加や社会貢献」を通じて、高齢者が生きがいを感じることでできる地域社会を目指します。「富楽時（ふらっと）」における様々なソフト事業の展開や、高齢者等が主体となって行う趣味や健康づくり等の活動の促進、元気な高齢者等が要支援高齢者を支援するボランティア活動など、シニアクラブ等と連携しながら、高齢者が積極的に参加できる仕組みづくりを進めます。